

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設 指定管理者 指定期間 施設所管課	(三崎漁港) 本港特別泊地・本港環境整備施設 スバル興業株式会社 H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31 水産課 (東部漁港事務所)
------------------------------	--

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

C

<判定理由>

自主事業を除き、提案どおりに取り組みを実施し、施設の魅力発信に加え、周辺利便施設の案内のため、「三崎下町・グルメ情報MAP」を作成し、4月から配布を開始したほか、地域のイベント等にも積極的に貢献しており、施設運営には何ら問題ない。しかしながら、近隣類似施設との競合による収入の落ち込みが激しく、収支状況に大きな課題が残ることからC判定とした。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
 B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
 C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
 D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認 通知日	確認方法			指導 等の有 無	備考（指導事項等）
			月 報 確 認	現 場 確 認	電 話 確 認		
4月	5月2日	5月28日	○	○	×	無	なし
5月	6月8日	6月29日	○	○	×	無	なし
6月	7月9日	7月26日	○	○	×	無	なし
7月	8月8日	8月28日	○	○	×	無	なし
8月	9月7日	9月28日	○	○	×	無	なし
9月	10月10日	10月19日	○	○	×	無	なし

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	○安全・安心で快適な施設の維持管理及び運営を行うため、予防保全に重点を置いた点検・修繕を実施する。	○利用者所有のフェンダーを破損から守るため、岸壁に付着するカキを除去した。（4月） ○駐車場看板のリニューアル・サイン灯の補修を行った。（4月） ○暴風時にフェンダーの増加設置、看板、ポール、テーブル等のロープによる固定を行ったことにより、被害を未然に防止した。（4月、6月）

	提案内容	実施状況
2	○顧客満足度の高いサービスの提供により、利用者へのサービス向上を図る。	○無料貸し出し用大型フェンダーを配備した。(4月～) ○操船に不慣れな船のために、機関修理の知識を身につけると共に、レスキュー活動にも積極的に取り組んだ。 ○交流広場に多目的ステージを設置した。(4月～)
3	○プレジャーボート、自動車での利用者の地元周辺地域への誘導を図るため、海・水辺の魅力情報や三崎漁港の魅力情報などを広く一般に発信し、指定管理施設の価値向上に努める。	○三崎下町グルメ情報・MAPを作成し、配布を開始した。(4月～) ○地域振興を目的とした七夕コンサートのチケット販売をボランティアで開始した。
4	○ヨットレース開催実績を生かして、地元ヨットレースやイベント等への開催協力を行う。	○地元ヨットレースのレースサポートを実施した。(5月、8月) ○第6回海のフェスティバル(来場者約1,200人)では、運営のコア業務を担当し、地域に十分な貢献ができた。(7月) ○三崎港サマーフェスティバル(来場者約2,000人)の運営に参加し、交流広場での催し開催に協力したほか、特に花火の打ち上げに当たっては経験を生かして、関係機関等との調整に中心的な役割を果たし、地域に十分な貢献ができた。(8月) ○今後も周辺で実施されるイベント等に積極的に関わり地域貢献に努力する。
5	○自主事業として地域活性化、三崎漁港多目的利用の促進を目的に、ヨット体験スクール、みさきオーブンミュージアム、レンタサイクルを実施する。	○利用者のための利便施設として、交流広場に自動販売機を設置した。(8月～) ○指定管理者の公募時に計画した自主事業については、地元調整に課題があり、いましばらく時間を要する見込みである。

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	31,930	1,350	33,280	30,481	2,799
予算額	前年度	—	31,000	—	31,000	31,000	0
	上半期	—	—	—	—	—	—
	下半期	—	—	—	—	—	—
	今年度	—	13,500	—	13,500	29,014	▲ 15,514 ①
	上半期	—	—	—	—	—	—
	下半期	—	—	—	—	—	—
上半期実績額	4月	—	987	—	987	1,823	▲ 836
	5月	—	1,058	—	1,058	1,758	▲ 700
	6月	—	646	—	646	1,745	▲ 1,099
	7月	—	819	—	819	1,716	▲ 897
	8月	—	1,221	—	1,221	2,093	▲ 872
	9月	—	831	—	831	1,632	▲ 801
	今年度 上半期合計	—	5,562	—	5,562	10,767	▲ 5,205 ②
	前年度 上半期合計	—	5,213	945	6,158	18,559	▲ 12,401
	対前年度上半期比				▲ 9.7%	▲ 42.0%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	平成23年度に引き続き、駐車場の収入が公募資料に比して大幅な減収となる見込みである反面、経費の約60%近くが人件費と駐車場料金徴収機器に係る費用であることから、安全安心な施設運営のために節減可能な経費が限られており、これ以上の経費節減が困難であるため。
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	昨年4月にオープンした近隣駐車場との競合により利用者が激減し、指定管理者公募時の資料に比して1/3程度しか収入が確保できない一方で、固定経費の割合が高く、削減可能な経費が限られており経費の削減が極めて困難なため。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	○	前年度が指定管理の初年度であったことから、事業開始に必要な事務所設置に係る費用など、初期費用が多く発生したため。
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：50,000円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	2,801 人	1,793 人	56.2 %
5月	2,798 人	2,363 人	18.4 %
6月	1,717 人	1,690 人	1.6 %
7月	1,967 人	2,541 人	▲ 22.6 %
8月	2,930 人	3,773 人	▲ 22.3 %
9月	2,148 人	2,319 人	▲ 7.4 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	14,479 人	14,361 人	14,479 人	▲ 0.9 %	▲ 0.9 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	23年4月にオープンした近隣駐車場の競合により利用者が激減しているため、わかりやすい看板の設置など、利用者増の取組を継続して行っている。 なお、夏季の繁忙期などに駐車場精算機が故障した際、料金徴収業務の人員が確保できず、駐車場を無料開放とした場合があった。
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	6 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	特別泊地にはみ出している鮪船が、離着岸時に施設利用者に対し、船の移動を強要する。	可能な範囲で鮪船の入港情報を提供してもらおうこととしたが、事前の情報入手が非常に困難な状況である。
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

公募時に提案した取り組みを着実に実施し、特に特別泊地については、専門性を生かした質の高いサービスが提供できている。レスキュー活動も積極的に行い、安全安心な施設運営が滞りなく実施されており評価できる。また、地域活性化のための種々のイベントにも積極的に関わり、ノウハウを生かした地域貢献を行った。

一方で、近隣類似施設の開設により駐車場利用者が激減し、初年度である昨年に引き続き、公募時に想定した収入の1/3程度しか確保できない状況であり収支状況には課題が残る。安全安心の面から、節減できる経費には限りがあるものの、さらなる経費節減の工夫が求められる。

なお、公募時に提案した自主事業については、地元調整に時日を要し、実施まで若干の時間がかかると見込まれる。